

## 鹿児島大学病院

研修医 中村 毅 2017年5月

鹿児島大学病院における地域医療研修として5月にお世話になりました、研修医2年目の中村 毅（ナカムラ タケシ）と申します。1ヶ月間という限られた期間の中で、出水総合医療センターを中心に、野田診療所・高尾野診療所・出水保健センター・上場診療所にて研修させて頂きました。お世話になりました関係者の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

私は長崎県出身で、高校までは長崎県、大学から鹿児島島の地にやってきました。鹿児島での生活も8年目に突入しましたが、出水には一度も足を踏み入れたことがありませんでした。初めての出水ということもありまして、研修は勿論ですが、出水での生活も楽しみにしていました。出水は鹿児島市よりもやや涼しくとても生活しやすい場所でした。

研修についてですが、まずは4日ずつ野田・高尾野診療所で研修させて頂きました。野田診療所では、今までの数倍のエコー検査を実際にさせて頂き、中身の濃い研修でした。高尾野診療所では、今まで経験したことのなかった慢性期の外来を経験でき、自分に足りない技術を見直すいい機会となりました。8日間という短い研修でしたが、スキルアップすることができた非常に有意義な研修でした。

出水保健センターでは、母子健康相談、3歳児検診を見学させて頂きました。親御さんたちは、私が考えている以上に様々な悩みを抱えて子育てをされていることがわかったと同時に、保健所の職員の方々がその悩みに真摯に向き合っていることに感服しました。

院内研修では脳神経外科研修を中心に、看護・臨床検査・臨床工学・リハビリテーション・地域医療連携などの講義や体験をさせて頂きました。脳血管障害の急性期～慢性期の治療、リハビリ、退院支援等クリニカルパスを有効に使用したチーム医療を直に体験することができ非常に勉強になる研修でした。また、各部署の講義・体験では改めて他職種の実際の現場を知ることができ、今後のチーム医療に活かすことのできる非常に有意義な研修でした。

上場診療所ではへき地医療を経験することが出来ました。検査器具が限られていることもあり、問診と身体診察の重要性を再確認できました。また、受診形態の多様性を目の当たりにすることができ、医療にも柔軟性が必要であるということも感じることができました。また、へき地の高齢者の方は元気な方が多い印象で、その裏には陰ながら努力されている医療関係者が存在することを知り、感動を覚えました。

最後になりましたが、大変お忙しい中、時間を割いて丁寧に指導して下さいました皆様方に、深く御礼申し上げます。この1ヶ月の経験をこれからの医師人生に活かせるようこれからも頑張っていきたいと思っております。